



平和や戦争について考える平和集会

9月13・16日

戦争の悲惨さや、平和の大切さと尊さを学び合い、平和な社会を築いていこうとする態度を育てるために毎年開催しています。

今年は、1～3年生は「戦争中の暮らし」について長尾欣子様から話を聞きました。3～6年生は「青い目の人形」について廣松最子様から話を聞きました。子どもたちはしっかり話に聴き入り、質問したり感想を発表したりして平和について深く考えることができました。



水俣に学ぶ肥後っ子教室・集団宿泊教室

9月15・16日

5年生が1泊2日で、水俣病や環境に関する学習をする「水俣に学ぶ肥後っ子教室」と集団宿泊教室に出かけました。水俣では語り部さんの講話や展示の見学、環境についての学習を行いました。2日目は、あしきた青少年の家で、ナイトゲームやマリン活動（ペーロン）、プラホビーを行い、みんなで力を合わせることの大切さを学びました。



6年生 修学旅行(長崎・佐賀)

9月29・30日

1日目は、長崎市の平和公園での見学や原爆の被害に遭われた語り部の方の講話などで、平和の尊さをしっかりと学びました。2日目、バイオパークで動物とのふれ合いや買い物を楽しみ、吉野ヶ里歴史公園では弥生時代の人々の生活に思いを馳せました。

旅行後には、タブレットコンピュータなどを使って、2日間で学んだこと、考えたことをまとめていく学習をしています。



宮原小のめざす児童像

(健) いきいきとし夢を持つ子

・健康で健やかなのびのびと明るい心身

(根) 粘り強くがんばる子

・根気強く粘り強い学習や仕事

(信) 互いに信頼し思いやりのある子

・互いに約束を守り信頼し合える生活



児童一人ひとりが大切にされる宮原小をめざして



自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる児童、人とつながる力を持った児童を育てる取り組みを進めています。

新学期に運営委員会の児童が、「やさしい宮っ子」宣言を行い、人の嫌がることをせず、お互いを思いやる「やさしい宮っ子」を目指そうと呼びかけました。

なかま委員会では、1年から6年までの縦割り班で給食を食べる「にこにこ給食」や「にこにこ遊び」を行っています。

あいさつ運動一斉行動の日

毎月15日

氷川町ではコミュニティ・スクールの取組の一環として、子どもたちが安心して暮らせる町づくりを目的とした「あいさつ運動」に取り組んでいます。今年はこの取り組みをさらに充実させ、人と人をつなぐ挨拶ができる氷川っ子を育てるため、学校・地域・行政が一体となり「あいさつ運動一斉行動の日」として毎月15日の朝に実践しています。

